

# カメラ散歩「春の花を撮りましょう」

2012年6月5日(火) 晴れ 1万歩 7km

コース JR大船駅南改札口 9時30分→大船植物園(350円)→大船観音(300円)→大船駅

参加者: 吉峯(講師) 濱崎和(L) 内田 市川 平野 石川研 石川正 平林 斉藤優 中村 新楽 岸田  
前島 三角 計14名

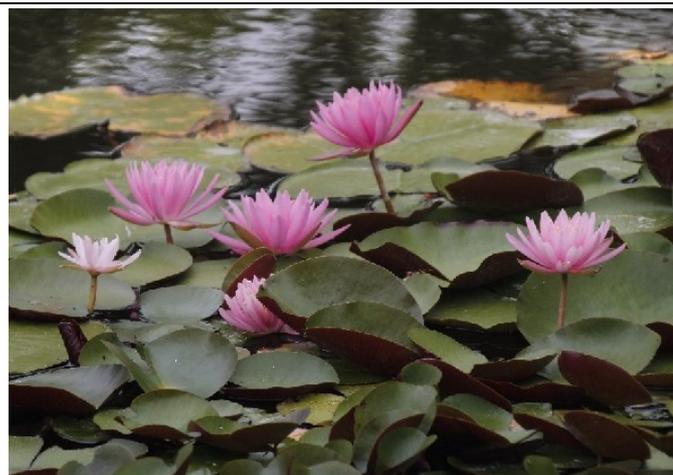
★今迄に撮った写真を2~3枚持参。カメラ、写真の持参無しでも参加可



歩道橋の上から観音様を撮ります。  
空と森の色のギャップには露出をどうしたら  
いいか吉峯さんの指導



このように、上が白くて下が暗い時は、ピント  
をどちらに合わせるかで観音様の白さが変わ  
ります。デジカメの良さは何枚か撮って納得の  
いくものを選ぶことが出来るところです



睡蓮の池。満開でした



鯉も沢山



カメラデビューの人達が次々質問に来ますが、カメラの機種が多すぎて操作は難しい(石川研さん)



広場で、持ち寄った写真の講評が始ります



皆さん熱心です



と、思ったら「はやべん」の人がいます



お弁当の後、めいめいに撮りたい場所に散る予定が、なんとなくかたまって動いてます



これは、背景ぼかしの技術見本です。失敗作ではありません(本当?)



薔薇.....赤の八重



白の一重



プロ？（石川研さん）



構えは良いですが、作品の出来は？（石川研さん）



アヤメも咲き始めました



クレマチス



温室ではこんな変わった植物が



こちらは枯れた花ではありません  
本当の色です



温室の水連



とっても素敵(平野さん)



皆で指入れて



何をしているところでしょうか？



小魚が寄ってくるんですね



やらせモデルの石川さん  
花だけでなく「綺麗ね～」と感心している人物  
を入れるとストーリー性ができます



ユリの群落 (平野さん)



ユリ・ポピーの群落を抜けて



これどうかしら？どれどれ



あら、疲れちゃった人もいます



どこで撮っても綺麗な（景色ですよ）  
あっちでもこっちでも集合写真

段々男性が居なくなっていますが・・・（市川さん）



ハイビスカス（中村さん）

クレマチス（中村さん）



ヤマボウシとアリ（石川正さん）

薔薇（石川正さん）



観音様を正面から



最後は観音様の前で「ハイチーズ」(市川さん)

#### 岸田さんから感想文頂きました

「一眼レフの使い方もわからないのですが、、」とおそろおそろ参加を申し込んだ私。まず大船駅から見える大船観音を撮影、露出をおそわりました。

花いっぱいフラワーセンターでは最初に植物写真の展示室を見学しました。

普段だったら(ふ〜ん)と通り過ぎてしまっていたのに(どうやったら背景をぼかせるのだろう)(バラの花の水滴まで接写でできるのかな?)といつもと違った見方をしている自分に気づくのでした。その後参加者のこれまで撮った写真をならべて皆で見合いました。

同じ被写体でも方向や角度、光によって全く異なることに感動。園内撮影の時には先生に背景のぼかし方を教わり、リーダーに基礎的なことを教えてもらいました。先生(先生と呼ばないでといわれましたが)が気軽に相談できる方だったので初体験の私にはとてもよかったです。又、リーダーをはじめ参加者のアットホームな雰囲気初めてお会いした事を忘れるほどうちとけて話せとても楽しい一日でした。リーダーサブの方お疲れ様でした。岸田和子

岸田さん、皆さん、喜んでもらえて私も嬉しかったです。初めてリーダーをしたのですが、最初は「花を撮るのなら大船植物園」と簡単に考えていましたが、日にちが迫ると段々心配になってきました。高梨さん・主人・内田さんに付き合ってもらって3回下見をしたのですが結局初めの企画通りのコースに落ち着きました。参加人数が14人という小所帯になったせいもあり、皆さん「全員とお話しできて良かった」「一ヶ所でゆっくり写真が撮れて良かった」「次回も楽しみにしています」というお世辞込みの意見があり「更に頑張らなければ」と気を引き締めているところです。

カメラはそれぞれメーカー・機種によって扱いが違いますから各々のカメラの取り扱いについては自分で知っておく必要があります。頑張って取扱説明書読んでカメラいじってください。興味のある方参加してください。これからも楽しい「カメラ散歩」続けましょう。濱崎和枝